

公務員ゼミナー

公務員学科・公務員特別学科(初級・高卒公務員受験クラス)

2025 授業計画書

Syllabus

本冊子には、公務員学科・公務員特別学科(初級・高卒公務員受験クラス)における、
2025 年度の授業計画書をまとめています。

ただし、学群 C および学群 G については、2024 年度版を参考として掲載しています。

この授業計画書は、本校ホームページにも掲載します。<http://www.kumamoto-koumuin.info/>

学群	A				
授業科目	数的推理A				
担当者	我部 健, 篠原 憲司郎				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>[授業内容] 公務員試験の独自科目である数的推理(数的処理), 数学および資料解釈について学びます。 (数的推理, 資料解釈) 獲得目標は「様々な公式や解法を理解し, 正確で素早い解答能力を身につける」ことです。各単元の重要事項を学び, 問題に応じて解法を使い分けることができるよう学習していきましょう。また, 計算については連立方程式レベルの計算力が求められますので, 計算が苦手な学生は計算力の向上にも努めてください。 (数学) 出題頻度が高い2次関数を中心に, 三角比, 1次関数, 及び, 基本的な計算(展開, 因数分解, 平方根)を学習します。苦手な人でも取り組めるよう基礎から学んで行き, 実践問題を学習することで得点力を養います。 週テストでは, 重要問題を出題, 本試験での得点アップを目指します。 </p>					
<p>[科目別の授業内容(カッコ内: 授業時数の目安)]</p> <p>数的推理(計44時間) 虫食い算・魔方陣・素因数・カード・割る数と余り(8), 方程式・不等式・整数問題・平均算・仕事算・集合(9) 割合・濃度・対比・利益(6), 速さ(6), 場合の数・確率(7), 時計算・記数法(2), 総合演習(8)</p> <p>数学(計44時間) 2次関数(18), 三角比(11), 基本的な計算(15)</p> <p>資料解釈(計22時間) 指数(2), 増加率(3), 割合(2), 実数(7), その他のグラフ(2), 総合演習(6)</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A									
授業科目	判断推理A									
担当者	村山歌奈子, 霍口信明									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
判断推理Aでは、判断推理、判断推理図形を扱います。										
<p>【判断推理/60時間】公務員試験において必須・重要科目です。 その名の通り、与えられた条件を元に論理的に推論していきます。出題内容を全15項目に分類し、例題解説 演習のサイクルで各パターンの基本的な取り組み方をマスターします。週テストでは、教科書で扱った問題を変形して出題し、丸暗記によらない得点力を求めます。 基礎演習終了後は、出題パターンが混在する演習プリントを通して応用力をつけ、本番試験での得点につなげます。 授業ではグループ学習形式をとり、学生間で互いに説明しあうことで学習効果を高めます。 特に「命題・論理」「対応関係」「順位順序」「比較」を重点的に扱います。</p> <p>[授業]基礎編…項目別解法マスター(計35時間)、演習編…複合問題(計25時間)</p>										
<p>【判断推理図形/20時間】</p> <p>ガイドンス(1時間) 図形分野12項目をそれぞれ解法のポイントをマスターします(14時間) 例題の解説 演習のサイクルを繰り返しながら、各項目を修得します。 その後、応用問題を含め、総合演習で実力をつけます。(5時間)</p>										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										
備考										

学群	A				
授業科目	文章理解A				
担当者	村山歌奈子、霍口美枝				
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
文章理解Aでは、現代文、古典、英文、語彙について学びます。 【現代文】初級・高卒程度公務員試験において必ず出題される分野です。文章を読むことに対する苦手意識を払拭し、現代文を確実な得点源にするための演習・解説を実施します。また、隨時、現代文読解のためのテクニックも提示します。初回：ガイダンス(公務員試験における国語分野の出題について)、第2～5回：現代文の出題ジャンル別解法について、第6回以降：過去問を使用した演習(基礎編～実践編)。 【古典】国家型試験で出題されます。過去問演習を通して、実戦的に古文を読む力を培います。また、古典常識等の知識も身につけます。 【英文】初級・高卒程度公務員試験において必ず出題される分野です。長文読解に対応できる力をつけるため、毎時間テーマ毎に単語・熟語・構文を解説し、週テストで定着度をチェックします。また、イデオムプリントを作成し、学生が自主的に英語の勉強ができるようにしています。さらに、英語の専門試験が課される学生や難関試験を受験する学生に対しては、カリキュラム外で英語の専門授業を実施し、より各学生のニーズに応じた指導体制を確保しています。 【語彙】国家型試験等で出題されます。「漢字の読み書き」「四字熟語」「ことわざ・慣用句」「故事成語」など、ボリュームはありますが、覚えていれば短時間で得点できる分野です。出題を分析し、重要語句に絞ったオリジナル教科書を使って、漢字のもつ意味や、語の成り立ちから意味を理解できるような講義を行い、語彙力アップを狙います。週テストでも重点的に出題し、反復演習を通して定着を図ります。					
【文芸の取り扱い】 文芸が出題される試験は少ないですが、覚えていれば確実な1点となる内容です。受験に必要な学生には、授業動画と演習プリントを提供します。					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A									
授業科目	社会科学A									
担当者	小宮康									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
初級・高卒程度公務員受験の主要科目である政治経済分野について、頻出分野に特化した授業を行います。授業は板書を中心に進めます。板書内容には1つのムダもないため、ノートに落とし込んだ内容を完璧にインプットするとともに、週テスト(アウトプット)では100点満点を目指して学習に励んでください。また、実際に起こっている政治的・経済的な事象について理解し、論理的に考えるきっかけとなる授業を目指します。										
【授業計画】										
倫理・思想(10時間)										
国家観の変遷、各国の政治制度(3時間)										
日本国憲法・総論(2時間)										
基本的人権(4時間)										
国会(4時間)										
内閣・裁判所(4時間)										
地方自治(2時間)										
政党と選挙制度(4時間)										
国際社会(6時間)										
資本主義と社会主義(2時間)										
現代の企業(3時間)										
市場の理論(3時間)										
国民経済と景気変動(3時間)										
日本経済史(3時間)										
金融と日本銀行(3時間)										
租税と財政(3時間)										
国際経済(3時間)										
労働者の権利(1時間)										
社会保障制度(1時間)										
総復習と過去問演習(16時間)										
成績評価の方法										
出席要件を満たした者に対して、週テストの成績により評価する。										

学群	A				
授業科目	人文科学A				
担当者	中立悠紀				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
<p>初級・高卒程度の公務員試験合格を目標に、「世界史」「日本史」「地理」の頻出分野を中心に授業を行います。センター試験のような細かい内容は行わず、無駄を省いた板書で授業を進めます。また、週テストで得点してもらうために、図表の読み取りなども行います。高校時代に選択していない科目があるとは思いますが、一から丁寧に教えていきますので安心してください。本試験に向けて1点にこだわる勉強を効率よく行っていきましょう。</p> <p>【授業計画】</p> <p>(世界史) 40時間 古代文明(3時間)、古代ヨーロッパ(5時間)、中国史(9時間)、イスラーム世界(4時間)、中世ヨーロッパ(3時間) 近代ヨーロッパ(2時間)、市民革命(6時間)、帝国主義(3時間)、第二次世界大戦後(5時間)</p> <p>(日本史) 35時間 旧石器～古墳(3時間)、飛鳥～奈良(4時間)、平安(3時間)、鎌倉(3時間)、室町(3時間)、安土桃山(2時間) 江戸初期～江戸中期(4時間)、江戸末期～明治初期(5時間)、大正(3時間)、昭和～平成(5時間)</p> <p>(地理) 35時間 地形(4時間)、気候(4時間)、農業(2時間)、水産業(1時間)、資源(3時間)、工業(2時間)、人口(2時間) 都市(1時間)、国家・民族(2時間)、貿易(1時間)、環境問題(3時間)、アジア地誌(2時間) ヨーロッパ地誌(2時間)、アメリカ地誌(2時間)、オセアニア地誌(2時間)、アフリカ地誌(2時間)</p>					
成績評価の方法					
出席状況と週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	A				
授業科目	自然科学A				
担当者	西 索兄、内藤 一則				
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修				
授業内容・獲得目標					
物理・化学・生物・地学の各科目について授業を行います。 広範囲の内容ですが、頻出単元やキーワードなどを意識して説明を行いますので、授業に集中して取り組んでください。 教科書の演習問題を授業中にすべて扱うことは時間の都合上できません。自習用教材として使用してください。 すべての科目でプリントを使用します。必ず科目別にファイリングしてください。 科目別の授業内容は以下の通りです(カッコ内は授業時数) 物理(計30時間)...電気と電子(4)、音と光(2)、運動と力(9)、エネルギー(5)、演習(10) 化学(計30時間)...物質の構成(4)、物質の性質(8)、物質の量(8)、演習(10) 生物(計30時間)...生命の維持(7)、調節と反応(8)、生命の連続と展開(5)、演習(10) 地学(計20時間)...地球(5)、宇宙(5)、気象(5)、演習(5)					
成績評価の方法					
出席要件を満たした者について、週テストの成績により評価する。					
備考					

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	法と社会									
担当者	【刑事法】岡田行雄、【憲法】徳永達哉									
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
【刑事法】この講座のテーマは、刑法、刑事訴訟法等からなる刑事法と、公務員・行政、そして基本的人権保障との関わりです。各回は、まず、憲法に基づく刑事法の原則を前半にお話しして、それがいかにして犯罪者、被疑者・被告人、さらには犯罪被害者をも支えるものとなるはずか、後半では、それが原則通りではなく、様々な格差が反映している現実をお話しします。この授業を受けることを通して、犯罪者にいかに被害が積み重ねられているか、それを踏まえて、公務員として被疑者、被告人、犯罪者、そして犯罪被害者をいかに支えるべきかを考えることを期待しています。										
【憲法】憲法講話 憲法の意義を市民革命と社会契約に引き付け解説し、その後、日本が直面している格差問題(人権侵害)を検討します。										
授業コマ	授業計画									
第1回 刑法	1 2	刑法の歴史や日本国憲法に基づく刑法の諸原則がいかにして犯罪者の人権をも保障しているのかについて説明します。 日本の刑罰法令の使われ方が、刑法の諸原則からかけ離れ、犯罪者だけでなく私たちの人権を危うくしている現状をお話しします。								
第2回 憲法	3 4	憲法とは国家の基礎法である。 憲法で国家を縛る立憲主義を理解する。								
第3回 憲法	5 6	自律した個人による社会契約を理解する。 平等とは等しく自由であることを理解する。								
第4回 刑法	7 8	憲法・刑事訴訟法に基づき、捜査の対象となる被疑者の人権がどのように保障されるべきかについてお話しします。 警察官による捜査の問題点を通して、日本国憲法を順守し、国際的にも評価される警察官を支えるべきことについてお話しします								
第5回 憲法	9 10	権利の性質と、その範囲と限界を見定める思考力を養う。 人権相互の矛盾と衝突の調整に必要な思考力を養う。								
第6回 憲法	11 12	信教に関する憲法問題を検討する。 差別に関する憲法問題を検討する。								
第7回 刑法	13 14	憲法・刑事訴訟法に基づき、刑事裁判にかけられる被告人の人権がどのように保障されるべきかについて説明します。 被告人が99.9%有罪となる実態とその背景だけでなく、日本国憲法に基づき被告人を支える重要性についてお話しします。								
第8回 刑法	15 16	日本国憲法に基づく受刑者と犯罪被害者の権利保障の在り方について説明します。 受刑者・非行少年と犯罪被害者の置かれている現実を踏まえて、受刑者・非行少年・犯罪被害者の被害の埋め合わせが必要なことをお話しします。								
学科試験について										
【刑事法】授業内容を理解できたかを測るため、持ち込みなしで、選択肢から1つを選ぶ問題とカッコ内に適語を選択し記入する問題からなる単位認定試験を実施します。										
【憲法】憲法の条文説明に関する知識を確認します。そのために、用語解説、○×問題、記述式問題による単位認定試験を実施します。										
成績評価の方法										
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。										
備考										

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	くらしと人権									
担当者	【民法】三谷仁美、【労働法】霍口信明、【人権】後藤富和、【ハンセン病】菊池恵楓園									
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
【民法】今年度は、国立療養所菊池恵楓園へのFWを柱に、公人の不作為が私人にどのような影響を与えてきたのかについて学びます。授業では、グループワークを中心に様々な意見に触れる機会を設けたいと考えています。										
【労働法】仕事をする(働く)=労働者 弱い立場 このことは現代社会の中でどのような問題が起こるかを指摘することにより、労働者が弱者として経営者に対して対処するための基本的知識を身につける。特に格差社会の中、一般労働者と公務員との立場の違いを明らかにすることから労働法の重要性を認識して欲しい。										
【人権】人権についての基礎的な理解、及び、公務員が負う憲法尊重擁護義務についての理解。										
【ハンセン病】本校の学校理念の一つである「憲法の立場に立ち、自律して考える公務員を育成する」ことの達成に向け、様々な社会問題をとらえるうえで必要な「人権意識」について考えます。「ハンセン病」に関する人権問題について、当事者・周囲はどのような思いを抱いていたのか、行政はどのような対応をとったのかを知り、そして今後の自分にとって必要な意識・行動の在り方を考えましょう。										
授業コマ	授 業 計 画									
第1回 民法	1 2	菊池恵楓園へのFW直前、”ココ”だけはチェック！ キーワード：ハンセン病元患者・家族訴訟								
第2回 ハンセン病	3 4	菊池恵楓園フィールドワーク 歴史資料館見学、園長講話、園内見学								
第3回 労働法	5 6	・労働関係の基本的な知識について(憲法、労働三法、労働三権、最低賃金など) ・コロナ禍後の労働環境の変化								
第4回 民法	7 8	FWで発見したこと、学んだこと、疑問に感じたことをシェアしよう！ キーワード：ハンセン病元患者・家族訴訟								
第5回 民法	9 10	社会的弱者・少数派に”ツヅク”は必要？ キーワード：旧優生保護法違憲訴訟、同性婚違憲訴訟								
第6回 労働法	11 12	・格差社会とコロナ後遺症について考える(DVD)								
第7回 人権講話	13 14	くらしと人権・身近にある格差								
第8回 フィールドワーク	15 16	熊本が、ハンセン病訴訟の聖地である理由は？ キーワード：水俣病問題、川辺川ダム問題、コウノトリのゆりかご問題								
学科試験について										
【民法】学科試験に代わり、毎回レポート課題に取り組んでいただきます(締切りは、毎週木曜日13時)。配点は、レポート課題60点(4回×15点)、受講票コメント10点(4回×2.5点)の計70点で算出します。										
【労働法】授業内容と、配布プリントを中心として作問します。試験内容については授業中に説明します。記述式。持ち込み不可。										
【人権】レポート課題で評価します。詳細は後日提示します。										
【ハンセン病】レポート課題で評価します。詳細は後日提示します。										
成績評価の方法										
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。										
備考										

学群	専門科目群 学群C													
授業科目	地域と行政													
担当者	【防災】村山歌奈子、【エネルギー問題】西索兄、【五木村】土屋望生、【水俣病】田尻雅美、【水俣まちづくり】設楽聰													
授業の方法	講義または実習	授業時数	12	単位数	1									
学期	後期													
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修													
授業内容・獲得目標														
【防災】今年は能登半島地震発生、その後も各地で豪雨・地震等自然災害が起きています。そのなかで皆さんには、今後公務員として住民を守る立場に就きます。非常時には、平時に見えない社会の弱点が浮き彫りになります。想像力、対応力を養いましょう。														
【エネルギー問題】日本のエネルギー事情をデータの整理により知る。再生エネルギーの種類と特性について学ぶ。原発問題の現在と未来を考える。グループ座席にして、一方的な講義ではなく意見や疑問がやり取りされる時間を過ごしてもらう。														
【五木村】住んでいる人が満足する市・町・村を作るためには、行政の施策やその実行が重要ですが、民間の団体や企業との連携がより重要です。五木の事例をもとに民間とどのように連携するとどんなことが起きるのかを解説します。														
【水俣病】水俣病の歴史と現在を知ることから、公務員として弱い立場の人を支え、地域、社会に貢献する一人として、日本全体をとらえる視点、世界全体の中から日本をとらえる視点につながることを目的とする。														
【水俣まちづくり】「水俣病」という世界に類例のない産業公害を経験した水俣市における市民協働の地域再生・振興に係る取組をとおして、コミュニティの重要性、人と人との結びつき、地域資源を活かしたまちづくりについて学びます。さらに、このような実践により「SDGs未来都市」に選定された水俣市の新たな地域経営を紹介し、これから公務員に必要なマインドセットの習得を目指します。														
授業コマ	授業計画													
第1回 防災	1 2	各職種の防災上の役割 過去の災害からの教訓 自助・共助・公助 災害時に地域を支えるためには												
第2回 エネルギー問題	3 4	日本のエネルギー問題について学び議論する。 再生エネルギーの種類や可能性を知り議論する。 福島原発のドキュメント番組視聴後、感想を述べあう。												
第3回 五木村	5 6	五木村の辿ってきた歴史。行政の判断で五木がどのような影響を受けるどのような格差が生まれたのかを村内の目線、村外の目線で読み解く。 一人ひとりの公務員がどのような動きをし、村民、村外の人々はそれをどう評価してきたのか。 ここ3年、五木村の行政はどのように民間と連携してきたのか、その中で何が生まれてきたのか。 これからの五木村について。激しい行政の意思決定の中で、行政は何をしていくべきなのか。格差をなくすためには。												
第4回 防災	7 8	災害弱者 ロールプレイング・まとめ												
第5回 水俣病	9 10	水俣病公式確認から68年の過去を振り返り、教訓とは何か、負の遺産としての水俣病を改めて捉える。 水俣病患者の視点から、補償・救済制度を検証し、行政の果たす役割、社会を捉える視点とは何かを学ぶ。												
第6回 水俣まちづくり	11 12	水俣市の事例を用いて、地域問題解決型・地域資源活用型のまちづくりについて学習します。また、本時の前後に予定されている水俣病に関する授業、現地を訪れるフィールドワークとの関連性を持たせます。												
フィールドワーク	五木村コース、水俣コース(1月17日) 8:15集合													
学科試験について														
【防災】各回の受講票への記入内容で評価。詳細は初回授業時に説明します。														
【エネルギー問題】実施しません。レポート提出で代替えします。														
【水俣まちづくり】空欄補充による問題(一部記述式の場合あり)。授業で配布する資料に記載された事項から出題することとし、資料の持込は不可とします。														
【水俣病】レポート「水俣病の教訓とは何なのか、被害を防ぐためにできることは何か」ご自身の意見、考えを述べてください。(1,000字以上) 締切2025年1月21日(火)														
【五木村】持ち込み可														
成績評価の方法														
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。														
備考														

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	現代社会の理解									
担当者	【国際社会】阿部悠貴、【税と社会保障】霍口信明、【情報化社会】村山歌奈子									
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
【国際社会】 この授業では現代の世界で見られる政治について検討していきます。中でも現在も続いているイスラエル・パレスチナの紛争、11月に行われたアメリカ大統領選挙の結果について考えていきたいと思います。										
【税と社会保障】衆議院総選挙語、103万、106万、130万の壁など、所得税や住民税など話題となっています。日本の税や社会保障がどのようにになっているのかを知ることによって、現在の日本の税と社会保障を見つめて欲しいと思います。										
【情報化社会】 いまや、スマホのない生活は想像できないのではないでしょうか。便利な一方、あふれる情報やSNSに振り回されたり、フェイクニュースや個人情報の流出、ネット依存など問題もあります。「情報」を正しく活用することについて考えてみましょう。										
授業コマ	授業計画									
第1回 情報化社会	1 2	SNSやデジタル技術が私達の生活に与える影響。フェイクニュースや情報リテラシーについて。生成AIの活用。								
第2回 国際社会	3 4	イスラエル・パレスチナ問題について ガザで何が起きているか 2023年10月7日の事件から考える								
第3回 税と社会保障	5 6	給与明細 基本給、各手当(通勤、住居の計算方法)、控除の内容と種類 給与表の見方と決められ方								
第4回 税と社会保障	7 8	税の種類、税の計算(所得税)と控除、社会保険料 源泉徴収、確定申告(所得税・住民税)税の歴史、税の役割								
第5回 税と社会保障	9 10	社会保障の内容、社会保障の種類、社会保障の当てられ方								
第6回 国際社会	11 12	アメリカの政治制度について 2024年の大統領選挙を振り返る								
第7回 税と社会保障	13 14	年金の種類、年金の役割、年金の課題 公務員の福利厚生								
第8回 国際社会	15 16	ポピュリズムとは何か 現代政治の特徴について トランプ候補はなぜ支持されたのか アメリカ政治の変容を考える								
学科試験について										
【税と社会保障】講義内容による試験を実施します。○×問題や計算問題等を出題します。持ち込み不可ですが、電卓の使用は可(ただしスマートフォンでの代替えは不可)。										
【国際社会】A4以下の紙一枚持ち込み可(両面の使用可)										
【情報化社会】一問一答や穴埋め問題を出題します。持込不可。										
成績評価の方法										
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。										
備考										

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	人間と情報・文化A									
担当者	【オフィスマナー】橋本絵鯉子、【映像で観る日本現代史】中立悠紀									
授業の方法	講義または実習	授業時数	20	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
【オフィスマナー】社会生活は、立場の違う人々との円滑なコミュニケーションにより営まれ、その上で自分の能力、知識、技能を発揮し組織の中で、組織の目的を実現するために働きます。一人で仕事はできません。だからこそコミュニケーション能力が求められます。コミュニケーションの基礎を学びます。										
【日本現代史】1戦後日本に巨大な影響を与えたアジア・太平洋戦争と戦争が残した課題について深く理解する。 2 講義だけではなく、映像(NHKスペシャル)の視聴と、グループディスカッションを行う。ディスカッションを通じて、歴史の知識を深めるだけでなく、公務員試験を通じて培った話す力と論理力をさらに磨く。論理力を活かして、レポートを最後に作成する。										
授業コマ	授業計画									
第1回 現代史	1 2	アジア・太平洋戦争(15年戦争) NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へと向かったのか 第3回 “熱狂”はこうして作られた」を視聴								
第2回 オフィス	3 4	(マナー・挨拶) 仕事は挨拶に始まり、挨拶に終わります。学校では号令をかけて全員が同時に実施しますが、社会では、いつどこでどのような挨拶・お辞儀をすればよいか自己判断します。初対面での名刺交換の仕方も実践します。								
第3回 現代史	5 6	アジア・太平洋戦争(15年戦争) NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へと向かったのか 第4回 開戦・リーダー達の迷走」を視聴								
第4回 オフィス	7 8	(社会人敬語) 学校で学んだ敬語を、社会ではどのように活用すればよいのか学びます。職場の内外で使い分ける敬語は、位置関係の違いによってスムーズな活用が必要です。間違い易い敬語やクッション言葉の活用など実践します。								
第5回 現代史	9 10	戦争が残した課題 東京裁判(極東国際軍事裁判) NHKスペシャル「映像の世紀 東京裁判」を視聴								
第6回 オフィス	11 12	(来客対応) 来客対応は「職場の顔」と言われ、対応の良し悪しで職場の印象を左右します。その後を円滑に進めるためにも、最初の対応の仕方のポイントをおさえておきましょう。最初の対応を新人がすることが多いのです。								
第7回 オフィス	13 14	(電話対応) 携帯電話しか使っていないのに、職場ではいきなり固定電話の活用です。機器対応だけでなく、職場内線電話の言葉遣いと外線電話の対応言葉の違いを確認します。職場の電話が苦手にならないよう実践します。								
第8回 現代史	15 16	戦争が残した課題 熊本空襲・東京大空襲と空襲被災者の戦後 NHKスペシャル「本土空襲 全記録」を視聴								
第9回 オフィス	17 18	(クレーム対応) カスタマーハラスメントと正当なクレームの見極めが難しい中クレーム対応に新社会人が直面することもあります。相手にとっては新人であろうとなかろうと、関係ありません。クレーム対応の仕方を実践します。								
第10回 オフィス	19 20	(報告連絡相談) ビジネスシーンでは、報告・連絡・相談の3つが重要なコミュニケーションです。これが滞ると業務が悪化するほど影響力の大きいものです。どのような注意が必要か状況に応じて、ポイントを確認していきます。								
学科試験について										
【オフィス】配布資料の中から、記入、又は選択式で出題します。職場での実践に必要な基本知識を確認するものです。資料は持ち込みできません。										
【日本現代史】レポートを課します。レポートの課題は、次のとおりです。「アジア・太平洋戦争と、戦争が残した課題をめぐる歴史を振り返った際に、私たちが覚えておくべき事実(教訓)とは何なのか、授業内容を踏まえた上で、御自身の意見を論じてください」(1月14日16時締切) 各回授業の最後に、リアクションペーパーを提出してもらいます。										
成績評価の方法										
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。										
備考										
【日本現代史】授業の際に、日本史・世界史のプリントを持ってくることを推奨します。ディスカッションの際に、自身の助けとなるはずです。										

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	人間と情報・文化B									
担当者	【PC操作】小宮康、【映像で観る日本現代史】中立悠紀									
授業の方法	講義または実習	授業時数	20	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
【PC】これまでタブレットやChromeBook等の情報端末が身边にある生活を送ってきたかと思いますが、これらのデバイスの性質上、キーボードを使用して文書や表を作成することに慣れている学生は以外と少ないと思います。新しい職場でパソコンの前に着席した際、うろたえることのないよう、本講座で基本的なスキルを身につけてください。										
【日本現代史】1戦後日本に巨大な影響を与えたアジア・太平洋戦争と戦争が残した課題について深く理解する。 2 講義だけではなく、映像(NHKスペシャル)の視聴と、グループディスカッションを行う。ディスカッションを通じて、歴史の知識を深めるだけでなく、公務員試験を通じて培った話す力と論理力をさらに磨く。論理力を活かして、レポートを最後に作成する。										
授業コマ	授業計画									
第1回 現代史	1 2	アジア・太平洋戦争(15年戦争) NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へと向かったのか 第3回 “熱狂”はこうして作られた」を視聴								
第2回 PC	3 4	文書作成 : 文字入力の基本 タイピング練習								
第3回 PC	5 6	文書作成 : 課題作成1-受験案内 タイピング練習								
第4回 PC	7 8	文書作成 : 課題作成2-模擬試験実施要項 タイピング練習								
第5回 現代史	9 10	アジア・太平洋戦争(15年戦争) NHKスペシャル「日本人はなぜ戦争へと向かったのか 第4回 開戦・リーダー達の迷走」を視聴								
第6回 PC	11 12	表計算 : セルの書式設定の基本-罫線、網掛け、セルへの入力 タイピング練習								
第7回 現代史	13 14	戦争が残した課題 東京裁判(極東国際軍事裁判) NHKスペシャル「映像の世紀 東京裁判」を視聴								
第8回 PC	15 16	表計算 : 課題作成3-授業計画書 タイピング練習								
第9回 PC	17 18	表計算 : 課題作成4-採用試験の詳細 タイピング王決定戦2024								
第10回 現代史	19 20	戦争が残した課題 熊本空襲・東京大空襲と空襲被災者の戦後 NHKスペシャル「本土空襲 全記録」を視聴								
学科試験について										
【PC操作】実施しません。課題提出を単位認定の条件とします。										
【日本現代史】レポートを課します。レポートの課題は、次のとおりです。「アジア・太平洋戦争と、戦争が残した課題をめぐる歴史を振り返った際に、私たちが覚えておくべき事実(教訓)とは何なのか、授業内容を踏まえた上で、御自身の意見を論じてください」(1月14日16時締切) 各回授業の最後に、リアクションペーパーを提出してもらいます。										
成績評価の方法										
出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。										
備考										
【PC操作】USBメモリを貸与します。 【日本現代史】授業の際に、日本史・世界史のプリントを持ってくることを推奨します。ディスカッションの際に、自身の助けとなるはずです。										

学群	専門科目群 学群C									
授業科目	人間と社会									
担当者	【子どもの貧困】西索兄、【学童保育】神田公司、【体育】村山歌奈子									
授業の方法	講義または実習	授業時数	16	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>【子どもの貧困】「子どもの貧困」と「子ども基本法」について講義します。 公務員としての基礎知識と現状認識をしっかりと持ってもらいます。国や自治体の働きの中身と、根拠となる法律を確認します。 問題意識として、なぜ子どもの貧困が重大なのかを考えもらいます。 民間、地域からつくられている「貧困や困難を抱える子ども支援の取り組み」の実態を知ってもらいます。</p>										
<p>【学童保育】学童保育(放課後児童クラブ)を通して、学童保育が求められる社会の背景を考え、学童保育(放課後児童クラブ)の制度と国・都道府県・市町村の役割を考えます。また、学童保育(放課後児童クラブ)でのあそびを通して「育成支援」とは何かについても考えます。</p>										
<p>【体育】スポーツを通じて、体力作り・健康作りに取り組みましょう。日頃の勉強の疲れを大いに発散して下さい。また、スポーツにはチームワークや協調性が求められます。これまで話したことのない学生とも積極的に関わり、コミュニケーションをとることも目標です！ 体育館シューズ、動きやすい服装で参加して下さい。</p>										
授業コマ	授業計画									
第1回 体育 1 2	授業ガイダンス及び実技 県立体育館使用 14:30 ~									
第2回 体育 3 4	実技 県立体育館使用 14:30 ~									
第3回 学童保育 5 6	学童保育(放課後児童クラブ)とは何か。その現状. 学童保育(放課後児童クラブ)の目的と制度。これを支える条例や法律。子どもの権利条約と子ども基本法の理解									
第4～6回 体育 7 12	実技 県立体育館使用 9:30集合									
第7回 子どもの貧困 13 14	<p>最近「自助」いうことが頻繁に語られるようになりましたが「貧困」であることは自己責任なのか議論してもらいます。 私たちの社会が「貧困」を生む原因について考え、議論してもらいます。どうして「子どもの貧困」が重要なのでしょうか？ 「子どもの貧困」の実態をTV番組の録画を視聴します。 2014年(平成26)に施行された「子どもの貧困対策法」(子どもの貧困対策の推進に関する法律)の概要を知ってもらいます。 国や地方自治体の取り組みはどんなものでしょうか。 地域からつくる子ども支援の取り組みはどのようなものか紹介します。 子どもの権利条約の内容を学びます。</p>									
第8回 体育 15 16	実技 県立体育館使用 14:30 ~									
一ルドワーク 嘉島西小学校 学童保育施設(1月9日) 学童保育(放課後児童クラブ)での子どもたちとの遊び										
学科試験について										
<p>【子どもの貧困】講義で配布した資料の中から重要な語句についての知識定着を問います。</p>										
<p>【学童保育】学童保育(放課後児童クラブ)の制度と求められる社会の背景について確認します。そのため答えの一覧から()を埋める形式にします。持ち込みはなしです。</p>										
<p>【体育】レポート課題による評価。</p>										
成績評価の方法										
<p>出席点(30%)と学科試験の得点(70%)により評価。</p>										
備考										

学群	E									
授業科目	表現A									
担当者	クラス担任									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
自己PR、志望動機、就職してチャレンジしたい分野、興味関心のある新聞記事など、面接試験における主要テーマについて考察、発表をする授業です。他者に分かりやすく、はっきりと情報を伝達する表現力の基本を培うことを獲得目標とします。また、「面接・作文ノート」の作成を通して、作文試験・面接試験のための材料集め・整理など、2次試験の「土台」をつくりあげます。										
成績評価の方法										
出席状況と発表内容により評価する。										

学群	E									
授業科目	職種研究A									
担当者	本校教員、橋本絵鯉子									
授業の方法	講義	授業時数	30	単位数	1					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>総合的・実践的な2次試験対策の授業です。「公務員観の醸成」を目標とし、公務員就職への動機をよりいっそう深めます。</p> <p>「職種紹介」(10時間)……公務員の活躍分野が多岐にわたることを知る</p> <p>「公務員の役割・本質」(5時間)……憲法や地方自治法を出発点に、公務員の役割・本質を考察する</p> <p>「まちづくり」(5時間)……少子高齢化、防災、地域振興など、公務員が直面する具体的な事例を知る。</p> <p>「面接スキル」担当・橋本絵鯉子(5時間)……入退室練習、発声練習、身だしなみなど「好感の持てる面接スキル」を学ぶ。</p> <p>「模擬面接」(5時間)……職種理解の度合いを模擬面接を通して確認・評価する。</p>										
成績評価の方法										
出席状況(50%)、発表内容、提出物(50%)により評価する。										
備考										
実務経験のある教員(橋本絵鯉子)による授業。現在はフリーアナウンサーとして、熊本県の情報発信ラジオ番組などに出演している。アナウンサーとしての経験をもとに、他者に的確に・分かりやすく・説得力のある話し方のスキルを伝える。(5時間)										

学群	E									
授業科目	実践演習A									
担当者	本校教員									
授業の方法	演習	授業時数	50	単位数	2					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
初級・高卒程度公務員試験向けの総合的な1次試験対策です。国家公務員型、市町村型、県庁・政令指定都市型など、公務員試験の類型に応じた実践演習問題を行います。										
成績評価の方法										
出席状況と試験結果により評価する。										

学群	G									
授業科目	数学									
担当者	篠原憲司郎									
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>前期で学習した数的推理Aを履修している前提で、演習中心の授業を行います。 頻出分野である「速さ」「場合の数」「確率」を主なテーマとし、数的推理図形や資料解釈の演習も行います。 多くの学生が苦手な分野を扱うので、授業に集中し、ポイントをおさえて学習していきましょう。 前期の数的推理Aの復習を併せて行うのも効果的です。</p>										
成績評価の方法										
出席点と学科試験の得点により評価。										
備考										

学群	G									
授業科目	数学									
担当者	村山歌奈子、霍口信明									
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>数学 では、「判断推理」「判断推理図形」を扱います。 前期で実施した判断推理Aの内容をベースに、次年度公務員試験および、12月以降の追加募集試験に対応する力を養うための演習を行います。いずれも、基礎・重要事項に的を絞った内容です。</p>										
成績評価の方法										
出席点と学科試験の得点により評価。										
備考										

学群	G									
授業科目	理科									
担当者	西 索兄、内藤 一則									
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>前期の自然科学Aを履修していることを前提に授業を進めます。 頻出・苦手分野に絞って、1時間ずつ単元を決めて演習、解説を行っていきます。 演習がメインとなるため、各単元の演習前の説明は最低限の内容となります。 まとめプリントを使用し説明する形となります。必要であれば授業後、各自で復習を行ってください。教科書は必要ありませんが、授業中手元にあると、より理解しやすいと思います。</p>										
成績評価の方法										
出席点と学科試験の得点により評価。										
備考										

学群	G									
授業科目	社会									
担当者	小宮康、中立悠紀									
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
社会科学A、人文科学Aの受講を前提とし、12月以降に実施される公務員試験での1次試験合格を目指に、頻出分野を中心とする基本事項の確認と演習を行う。										
成績評価の方法										
出席点と学科試験の得点により評価。										
備考										

学群	G									
授業科目	文章理解									
担当者	村山歌奈子、霍口美枝									
授業の方法	講義	授業時数	15	単位数	1					
学期	後期									
対象	公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>文章理解 では、現代文、英文、語彙について学びます。 次年度だけではなく、12月以降の追加募集試験にも対応できる得点力につけることが目標です。前期の文章理解Aで学んだ内容をベースに、演習を通して実戦力を養います。</p> <p>[授業内容]</p> <p>現代文…過去問演習(5時間) 英文…時制・受動態・助動詞・仮定法(1時間)、不定詞・動名詞・関係詞(1時間)、比較・接続詞・否定(1時間)、長文読解(5時間) 語彙…漢字・ことわざ・慣用句(2時間) 作文(1時間)</p>										
備考										
実務経験のある教員による授業。村山歌奈子の前職は高校教員(国語科)。霍口美枝の前職は高校教員(英語科)										

学群	G				
授業科目	数的推理B				
担当者	我部 健, 篠原 憲司郎				
授業の方法	講義	授業時数	110回	単位数	4
学期	前期				
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修				

授業内容・獲得目標

【授業内容】

公務員試験の独自科目である数的推理(数的処理), 数学および資料解釈について学びます。

(数的推理, 資料解釈)

獲得目標は「様々な公式や解法を理解し, 正確で素早い解答能力を身につける」ことです。各单元の重要事項を学び, 問題に応じて解法を使い分けることができるよう学習していきましょう。また, 計算については連立方程式レベルの計算力が求められますので, 計算が苦手な学生は計算力の向上にも努めてください。

(数学)

出題頻度が高い2次関数を中心に, 三角比, 1次関数, 及び, 基本的な計算(展開, 因数分解, 平方根)を学習します。

苦手な人でも取り組めるよう基礎から学んで行き, 実践問題を学習することで得点力を養います。

週テストでは, 重要問題を出題, 本試験での得点アップを目指します。

【科目別の授業内容(カッコ内: 授業時数の目安)】

数的推理(計44時間)

虫食い算・魔方陣・素因数・カード・割る数と余り(8), 方程式・不等式・整数問題・平均算・仕事算・集合(9)

割合・濃度・対比・利益(6), 速さ(6), 場合の数・確率(7), 時計算・記数法(2), 総合演習(8)

数学(計44時間)

2次関数(18), 三角比(11), 基本的な計算(15)

資料解釈(計22時間)

指數(2), 増加率(3), 割合(2), 実数(7), その他のグラフ(2), 総合演習(6)

1年前期の数的推理A, 1年後期の数学 を履修していることを前提に授業を行っていきます。

1年生のときに学習した内容から, さらに短時間で正確に処理できることを目指します。

複数の解法について学んで自身にあったやり方を見つけたり, 解法の適用について試行錯誤したりなど, 学生の皆さんにも積極的に取り組んでいただきたいと思います。

成績評価の方法

出席状況と週テストの成績により評価する。

備考

学群	G									
授業科目	判断推理B									
担当者	村山歌奈子、霍口信明									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>判断推理Bでは、1年次の判断推理A・数学 の授業内容をベースに、演習を通して公務員試験で確実に得点できる力を養います。また、授業はグループ学習形式で行うため、1年次の学生(初学者)に対して推論過程を説明する役割を担ってもらいます。</p> <p>【判断推理/60時間】基礎編…項目別解法マスター(計35時間)、演習編…複合問題(計25時間)</p> <p>【判断推理図形/20時間】 ガイドンス(1時間)、図形分野12項目の解法のポイント(12時間)、応用問題を含めた総合演習(7時間)</p>										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										
備考										
実務経験のある教員(霍口信明)による授業。前職は高校教員(数学科)。										

学群	G									
授業科目	文章理解B									
担当者	村山歌奈子、霍口美枝									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
文章理解Bでは、現代文、古典、英文、語彙について学びます。いわゆる、「年次の文章理解A、文章理解」で学んだ内容をベースに、公務員試験での実戦力を養うための演習を行います。さらに、正答を導き出すまでの過程を他学生に説明する、という機会を設け、論理的な思考力だけでなく説明力も同時に養います。										
【現代文/25時間】ガイダンス(1時間)、現代文の出題ジャンル別解法(計4時間)、過去問演習(基礎編～実践編/計20時間)										
【古典/5時間】過去問演習(5時間)										
【英文/25時間】時制・受動態・助動詞・仮定法　～不定詞　～動名詞　～関係代名詞・比較　～接続詞・否定 ・分詞・話法・無主物主語/各1時間(計18時間)、演習(計7時間)										
【語彙/25時間】漢字　～　四字熟語　～　慣用句　～ことわざ・故事成語・文法　～ /各1時間(計15時間)、 演習(計10時間)										
【文芸の取り扱い】 受験に必要な学生には、授業動画と演習プリントを提供します。										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										
備考										
実務経験のある教員による授業。村山歌奈子は私立高校教員(国語科)として3年間勤務。霍口美枝は私立高校教員(英語科)として20年以上勤務。										

学群	G									
授業科目	社会科学B									
担当者	小宮 康									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
社会科学Aと社会 の受講を前提に、政治・経済分野について発展的に学びます。授業の基本的なコンセプトは社会科学Aと同じですが、1年次に身につけた基本的な知識を前提に、本試験で高得点を目指すとともに、時事的な事例に触れながら、学習内容を「活きた知識」に昇華させることを目標とします。										
倫理・思想(10時間) 政治分野(21時間) 国際関係(6時間) ミクロ経済学の基礎(8時間) マクロ経済学の基礎(9時間) 財政学の基礎(3時間) 国際経済(3時間) 労働者の権利(1時間) 社会保障制度(1時間) 総復習と過去問演習(16時間)										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										

学群	G									
授業科目	人文科学B									
担当者	中立悠紀									
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4					
学期	前期									
対象	公務員学科(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修 公務員特別学科(1年)は必修									
授業内容・獲得目標										
人文科学Aと社会 の受講を前提に、「世界史」「日本史」「地理」の授業を発展的に行います。授業内容・意義などは人文科学Aと変わりませんが、週テストの満点・模擬試験の上位キープを前提に、本試験で確実に合格できるように授業に臨みましょう。										
【授業内容】 世界史:44時間 古代史(7時間)　　中近世アジア史(9時間)　　中近世欧米史(8時間)　　近現代アジア史(10時間)　　近現代欧米史(10時間)										
日本史:33時間 古代史(6時間)　　中世(8時間)　　近世(9時間)　　近現代(10時間)										
地理:33時間 地形(7時間)　　気候(7時間)　　農業・工業・水産業(8時間)　　人口・都市・貿易(5時間)　　地誌(6時間)										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										
備考										

学群	G									
授業科目	自然科学B									
担当者	西 索兄、内藤 一則									
授業の方法	講義	授業時数	110	単位数	4					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>1年前期の自然科学A、1年後期の理科 を履修している前提で、物理・化学・生物・地学の授業を行います。 基礎・基本は履修済みのため、原理や、より詳しい内容について理解を深めていきましょう。 教科書の演習問題を授業中にすべて扱うことは時間の都合上できません。少し難しい問題もありますが、各単元が終了したら知識の定着のためにも解いてみてください。</p> <p>すべての科目でプリントを使用します。必ず科目別にファイリングしてください。</p> <p>科目別の授業内容は以下の通りです(カッコ内は授業時数)</p> <p>物理(計30時間)...電気と電子(4)、音と光(2)、運動と力(9)、エネルギー(5)、演習(10) 化学(計30時間)...物質の構成(4)、物質の性質(8)、物質の量(8)、演習(10) 生物(計30時間)...生命の維持(7)、調節と反応(8)、生命の連続と展開(5)、演習(10) 地学(計20時間)...地球(5)、宇宙(5)、気象(5)、演習(5)</p>										
成績評価の方法										
出席状況と週テストの成績により評価する。										
備考										

学群	H									
授業科目	表現B									
担当者	クラス担任									
授業の方法	講義	授業時数	80	単位数	3					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
表現Aの発展的な授業です。受講学生には、面接試験の主要質問項目について、「意見発表」ではなく、より深い職種理解と論理的考察、説得力のある発表態度に基づいた、「プレゼンテーション」を求めます。										
成績評価の方法										
出席状況と発表内容により評価する。										

学群	H									
授業科目	実践演習B									
担当者	本校教員									
授業の方法	演習	授業時数	50	単位数	2					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
初級・高卒程度公務員試験向けの総合的な1次試験対策です。国家公務員型、市町村型、県庁・政令指定都市型など、公務員試験の類型に応じた実践演習問題を行います。										
成績評価の方法										
出席状況と試験結果により評価する。										

学群	H									
授業科目	職種研究B									
担当者	本校教員、橋本絵鯉子									
授業の方法	講義	授業時数	30	単位数	1					
学期	前期									
対象	公務員特別学科2年(初級・高卒程度公務員受験クラス)は必修									
授業内容・獲得目標										
<p>職種研究Aの受講を前提とする総合的・実践的な2次試験対策の授業です。憲法や地方自治法を発展的に学び、「公務員の役割・本質」へのより深い理解を図ります。また、少子高齢化、防災、地域振興などについて、象徴的な国内の事例を紹介し、地域に求められていることは何かを考え、模擬面接を通して意見発表を行います。職種研究Aと同様、「面接スキル」についても取り上げ、模擬面接の質の向上を図ります。</p>										
成績評価の方法										
出席状況と発表内容、提出物により評価する。										
備考										
実務経験のある教員(橋本絵鯉子)による授業。(フリーアナウンサー)										